

自然教育園見ごろ情報

2026年8月6日号

附属自然教育園

検索

詳しくはHPの「見ごろ情報」
をご覧ください
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目！

ツリガネニンジンが
咲いてます



オオヒナノウスツボ

茎の先端は短い小枝にわかれ、多数の赤紫色の花をつけます。花の中に2つ並ぶ雄しべの様子を「ひな人形」に、花の形を玄米を精米する壺型の臼にそれぞれ例えたことが、名前の由来といわれています。



花



マツカゼソウ

ミカンの仲間で、葉を揉むと柑橘系のにおいがします。松風草（まつかぜそう）の名前は、やわらかい葉が微風でも風にそよぐ様子に由来します。



花



武蔵野植物園で
見られます

ツリガネニンジン

花が釣鐘形であること、根が太くチョウセンニンジンに似ていることが名前の由来と言われています。芽生えた若苗は山菜として利用され、俗にトトキとよばれています。



ナガボシシロワレモコウ

ワレモコウ

赤紫色の花の穂をつけます。湿地に生育する植物で、園では水生植物園で見られます。白色の長い花の穂をつけるナガボシシロワレモコウも、同じく水生植物園で見られます。



クサギ

木全体、特に葉に臭気があることから臭木（くさぎ）の名前がつけました。一方、花はよい香りで、沢山の虫たちが訪れる「昆虫レストラン」として賑わっています。



キツネノカミソリ

キツネの出るようなさびしい場所に生え、春に出る細長い葉が、日本古来の剃刀（かみそり）に似ていることが名前の由来とされます。花の時期には葉は枯れてありません。有毒植物です。

武蔵野植物園や
路傍植物園で
見られます



コバギボウシ

橋の欄干につける装飾品擬宝珠（ぎぼし）と花の蕾が似ていて、オオバギボウシに比べて葉が小さいことが名前の由来といわれています。



擬宝珠

全域で
見られます



会えたら
ラッキー♪

カラスアゲハ♂

黒っぽく、はねの表が緑色～青色に輝いて見える美しいチョウです。見る角度によって輝き方や色合いが微妙に変化して見えます。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園